

第12回 青梅市公共交通協議会

平成26年度業務計画(案)

平成26年2月21日

1. 平成26年度業務計画(案)

平成26年度青梅市公共交通協議会では、平成24年度にとりまとめた「青梅市公共交通基本計画」にもとづき、利用促進や市民意識の改革、公共交通空白地域の改善などに取り組んでいく。

このため、下記について検討を実施する。

(1) バス利用促進や市民意識の改革

○青梅市公共交通ガイド

平成25年度に作成した青梅市公共交通ガイドについて、協議会での指摘やこれまでに市民からいただいた意見を踏まえて改訂版を作成する。

→改訂版については、来年度も自治会加入世帯や公共施設等での配布を実施

→転入者に対するモビリティ・マネジメントについても引き続き実施

○居住者モビリティ・マネジメントへの取り組み

住民とともに公共交通の利用促進や今後のあり方について考えていくきっかけづくりとして、まずは成木地区において居住者モビリティ・マネジメントに取り組む。

・市内では梅76甲・乙(上成木行)が最も平均乗車密度が低く改善が必要

(平均乗車密度:梅76甲・乙2.1人、梅74甲・乙5.6人/H24.3調査)

・成木地区は、梅76甲・乙または梅74甲・乙(午前中はトンネル回り、午後は小曾木回りが主体で成木地区から見ると遠回り)のみで、他の地区に比べサービスレベルが低い

・来年度より更に減便となり、一層サービスレベルが低下するおそれがある

(2) 公共交通空白地域の改善

バス等の導入が可能な地区においては、路線変更や新規路線の開設について協議を進める。

先進事例などを踏まえ、新たな交通に対する支援策を協議し、地域住民に対する周知方法や、地域における協議体の組織化、支援策などについて検討する。

(3) 路線バスの公共負担抑制や効果的な活用

路線バスの新たな公的支援制度について討議する。

(4) 利用状況や路線形態からみた既存路線の見直し

交通事業者からの情報を得て、既存バス路線の利用状況を把握し、路線の見直しについて検討する。

(5) その他協議会が必要と認める事項

その他協議会が必要と認める事項について協議を行う。

2. 年間スケジュール(案)

業務計画を遂行するため、次の年間スケジュールを予定する。

回数	開催予定	協議事項
第13回	平成26年5月	決算報告、基本計画推状況、公共交通ガイド、居住者モビリティ・マネジメント など
第14回	平成26年10月	基本計画推状況、新たな交通に対する支援 など
第15回	平成27年2月	基本計画推状況、次年度業務計画 など